

鞍賀多和長尾記



291  
74

20  
7

中根二部

本書所載人名

中山無理守家正	一	五井	一人	白島 四人	一人	三	大	一人
加不 加不 加不		白島 三		西田 一人				
中山 中山 中山		原 三		同 左 西 大				
中山 中山 中山		吉田 八		吉 家 佐 吉 島				
根 根 根		中山 八		佐 三 三 三				
根 根 根		吉 三 六		五 五 五 大				
高 高 高		高 三 六		根 三 三 三				
湯 湯 湯		湯 三 三		三 三 三 三				
三 三 三		湯 三 三		三 三 三 三				
沖 沖 沖		湯 三 三		三 三 三 三				
吉 吉 吉		湯 三 三		三 三 三 三				
市 市 市		湯 三 三		三 三 三 三				
三 三 三		湯 三 三		三 三 三 三				
島 島 島		湯 三 三		三 三 三 三				
湯 湯 湯		湯 三 三		三 三 三 三				
玉 玉 玉		湯 三 三		三 三 三 三				
寺 寺 寺		湯 三 三		三 三 三 三				
西 西 西		湯 三 三		三 三 三 三				



此山、事死  
伊藤の三光曰  
齊三宗莊が平  
野の墓に在り



此古本、高橋宗校長森彦大居士より昭和八年十一月十日  
寄贈せられたるなり  
神皇正統記時代有田郡崎山に、隆範三好氏、軍ヲ返シ、其  
居城、防身ニ勵定、養華一将即從城ヲ破リ、三好氏シテ、狀を  
出掌ニ指下カル  
此種隱レシムル録之ヲ、表シ、以テ歴史、結語ヲ補遺スルニ尤  
有用ニコトナリトス  
森彦、好カト好ミテ、御レ有田曰、予、孝行ト奉養部如形、一羊トシテ  
略セ、三好首ヲ討テ  
昭和八年十一月十四日  
尾島中根古印機



291  
24  
1

十日部

山保田

山保田

山保田

信元、信、

信元、信、

其後

山保田

作田

作田

田保

石垣

官原

大園有征、

高野嘉徳

高野山鐘

湯浅操頭鐘

楠鐘

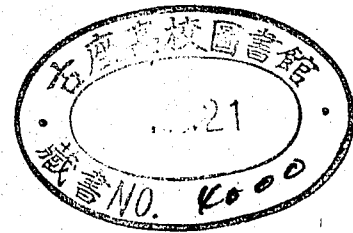
吉島氏

吉島氏

清津勢

白山、信神保

白山氏





小部

日高郡

函  
材部

嘉祥神所

言家

聖徳院堂所

本部所

新古神所

其他所

右ノ後

山形川系

室川系

川上

五家系

其他

湯川系

上野田

遠見系

南部

五家系

大向南征

皆其記下





蘇州府志卷之四  
藝文志記

蘇州府志卷之四  
藝文志記

鞍賀多知長尾記

天<sup>(天)</sup> 太永<sup>(龍)</sup> 比鬼<sup>(龍)</sup> 劫有田<sup>(龍)</sup> 住人<sup>(龍)</sup> 崎山<sup>(龍)</sup> 飛彈<sup>(驛)</sup> 守家<sup>(驛)</sup> 正<sup>(驛)</sup> 上<sup>(驛)</sup> 弓矢<sup>(驛)</sup> 名高<sup>(驛)</sup> 勇士<sup>(驛)</sup> 有<sup>(驛)</sup> 先祖<sup>(驛)</sup> 具<sup>(驛)</sup>

尋<sup>(人皇)</sup> 仁王<sup>(人皇)</sup> 五拾<sup>(人皇)</sup> 六代<sup>(人皇)</sup> 清和<sup>(人皇)</sup> 天王<sup>(人皇)</sup> 御流<sup>(人皇)</sup> 八幡<sup>(人皇)</sup> 太郎<sup>(人皇)</sup> 儀家<sup>(義)</sup> 舍弟<sup>(義)</sup> 加茂<sup>(義)</sup> 次郎<sup>(義)</sup> 儀綱<sup>(義)</sup> 息吉<sup>(義)</sup>

明<sup>(義)</sup> 長子<sup>(義)</sup> 秋山<sup>(義)</sup> 次郎<sup>(義)</sup> 吉宗<sup>(義)</sup> 拾七<sup>(義)</sup> 代<sup>(義)</sup> 崎山<sup>(義)</sup> 造<sup>(義)</sup> 酒<sup>(義)</sup> 之<sup>(義)</sup> 丞<sup>(義)</sup> 吉時<sup>(義)</sup> 九<sup>(義)</sup> 代<sup>(義)</sup> 長子<sup>(義)</sup> 也<sup>(義)</sup> 根<sup>(義)</sup> 來<sup>(義)</sup> 奇<sup>(義)</sup>

法<sup>(龍)</sup> 辨<sup>(龍)</sup> 有<sup>(龍)</sup> 飛<sup>(龍)</sup> 彈<sup>(驛)</sup> 入<sup>(驛)</sup> 道<sup>(驛)</sup> 西<sup>(驛)</sup> 室<sup>(驛)</sup> 院<sup>(驛)</sup> 源<sup>(驛)</sup> 譽<sup>(驛)</sup> 身<sup>(驛)</sup> 申<sup>(驛)</sup> ケ<sup>(驛)</sup> リ 御子<sup>(驛)</sup> 曰<sup>(驛)</sup> 人<sup>(驛)</sup> 持<sup>(驛)</sup> 宣<sup>(驛)</sup> 市<sup>(驛)</sup> 二<sup>(驛)</sup> 姫<sup>(驛)</sup> 三<sup>(驛)</sup> 男<sup>(驛)</sup> 但<sup>(驛)</sup> 馬<sup>(驛)</sup>

守家<sup>(驛)</sup> 時<sup>(驛)</sup> 廿<sup>(驛)</sup> 壹<sup>(驛)</sup> 四<sup>(驛)</sup> 男<sup>(驛)</sup> 孫<sup>(驛)</sup> 曰<sup>(驛)</sup> 吉<sup>(驛)</sup> 國<sup>(驛)</sup> 拾<sup>(驛)</sup> 四<sup>(驛)</sup> 才<sup>(驛)</sup> 弓<sup>(驛)</sup> 矢<sup>(驛)</sup> 打<sup>(驛)</sup> 物<sup>(驛)</sup> 取<sup>(驛)</sup> 肩<sup>(驛)</sup> 弁<sup>(驛)</sup> 者<sup>(驛)</sup> 無<sup>(驛)</sup> 其<sup>(驛)</sup> 外<sup>(驛)</sup> 御<sup>(驛)</sup> 門<sup>(驛)</sup>

三<sup>(驛)</sup> 拾<sup>(驛)</sup> 人<sup>(驛)</sup> 廣<sup>(驛)</sup> 在<sup>(驛)</sup> 中<sup>(驛)</sup> 野<sup>(驛)</sup> 村<sup>(驛)</sup> に<sup>(驛)</sup> 屋<sup>(驛)</sup> 形<sup>(驛)</sup> 之<sup>(驛)</sup> 健<sup>(驛)</sup> 代<sup>(驛)</sup> 之<sup>(驛)</sup> 榮<sup>(驛)</sup> た<sup>(驛)</sup> ま<sup>(驛)</sup> い<sup>(驛)</sup> け<sup>(驛)</sup> り 叔<sup>(驛)</sup> 父<sup>(驛)</sup> 家<sup>(驛)</sup> 之<sup>(驛)</sup> 臣<sup>(驛)</sup> 下<sup>(驛)</sup> 高<sup>(驛)</sup> 塙<sup>(驛)</sup> 權<sup>(驛)</sup> 平<sup>(驛)</sup> 湯<sup>(驛)</sup>



淺孫八郎三石八郎沖三郎太夫トテ何處も名高キ兵あり又但馬守此城めつと日  
高郡小池村ノ怪人吉川佐太夫子虎ト申者有長八尺五寸力八十五人髪方から眼  
ノ光り如星髪逆ニ毛上りいかにる音ハ猶ぞうけ如鳴 崎山此御家ト今焚  
噲ト申けり比ハ太永永身九月十八日市瀬次郎左衛門早馬ト馳參未不被  
聞召哉根ヒ呵波波路大將三好吉長鬼面ニ押寄所ト城責事度成ト  
申とも終本意不達トテ此度ハ先崎山一類ヲ責落ニ并に富山湯川玉置  
ヲ責ントテ油良横濱に數百艘ノ兵船ヲ掛扱又門前村ニ押寄寺田西川原

玉井田又ヲ討取テ寺領ノ百姓數百人池田山小坊子望嶺お切ならし己國寺  
切廻材木ヲ廻シ俄ニ城ヲ建シ近キ市大事トシハハ以ハ小勢大敵防事難所城  
ニ敷ハなく存シ如何被思召哉ト大息次而被申けり但馬守ヲ奉始何ト昨旦  
左様ノ沙汰承りト申けり入道仰けるは誠家ノ大事此度と覺たり然者我  
領内日高原富安三河望嶺讀鞍野多知長尾トモ田方難所トテ敵何方ト貴  
とも落トキ所ト不有殊ニ嶺ノ水澤山成地也ト知うけん望嶺ヲ本城ト定鞍野  
多知より長尾迄陣屋掛テ兵糧籠ト敵ニ色ヲ知らす友ト則奉行ニ市瀬次郎左

又持之云

衛門島山勘三郎原源五郎吉田新八中津川兵大夫被仰付いそけくと仰けり何も  
御前罷立上ヲ下トウへしけり俄事殊ニ四五日間に拵ニ城成を松皮ヲ其儘に丸  
木健(建)に健(建)たりけり堀(堀)不(不)り廻(廻)レ拵ヲ掛大木ヲ切而逆木と名し城出來ト申上  
是を但馬守ノ母上姫君と云人御供に高橋藤太楠次郎ヲ被仰付其外大明此侍  
九人相添新川へ落シたまひけり(公)かりそあなを親子兄弟の長才已りレト後にも  
おもひ被知けり(公)さうをト泣(泣)ニ已りたまひけり上下洞(洞)ニむせびけり無定世  
そかあしけり大將御座ヲ立たまへと但馬守同御舎弟孫四郎若崎山太郎左衛

門同新左衛門崎山主水同左近同孫七郎楠三郎正直崎山島羽守御一門三拾四  
人高橋權平吉川佐大夫湯淺孫八郎三石八郎沖三郎大夫鹿瀬五郎中村源八ヲ  
初トシテ其勢八百騎鹿瀬小峠分嶺通り長尾城ニ給ふ日高(高)布瀬三郎布瀬  
田即島山勘三郎同即同助八阿波田次郎關島佐近之大夫高家佐右衛門吉  
田新八佐藤三郎左衛門玉置秀太郎假也孫六中津川兵大夫芝山七郎潮行主  
膳其勢五百三拾騎長尾七嶺に芝登(登)役所役所かためけり  
飛彈(彈)入道家正孫四郎君御供長尾(馬場)場馬に御出有役所ヲ不殘御覽有天晴  
湖所(湖)

③



城ノ構金剛山ト申とも是ニハテ可増され合戦ノ習大勢トテ不可忍まこい

勢トテ阿ふとら守急鼠却而猫ヲ喰た、味方此心ヲ可合敵寄來ハ其比に近付

射自落セ大勢續而込登ハ大石ヲ崩掛ラミぞんせよ大將ト見射自落セ

武考) 此しやとわこ目あかけ我一戦討勝を方と此味方可來入、吾代名末代いさめや

早々又其ニノ(一)ノ諸勢ヲ勇諫給ケリ扱まご孫四郎名ヲ方かへ召是後所ノ此幡

紋不殘をいさままいけり先發頗多知此少こまこに三つ巴、白幡中津川兵太丈与藤

吉川佐太丈すを黒に萬葉の白幡崎山太郎左衛門 同新左衛門 寸ちま此赤藤玉置

彦太郎 上羽ノ蝶ハ阿波田次郎 彦ノ日丸付たり、後屋孫也 丁字也、白幡高橋権平

竹に雀ノお旗佐藤三郎左衛門 扇ノ丸ハ市瀬兄弟 三がい松小松原ノ一等也

に萬葉ノ幡ハ源源五郎 きく水乃白旗ハ楠三郎 所ノに萬葉此幡三拾回流 崎山

一家ノ旗をかくまこ丸此内ニ三ツ星の白幡ハ潮ヲ主膳其好家ニ此紋白幡赤藤

馬印ハ白三流 其勢云々三百人寄敵いまや今やと待居たり

定条

一今度之合戦ニ拔欠堅仕間敷事

一夜廻り無油断可情入事 (精)

一夜討入時志相圍之火可立事 (著)

一城内出入之輩堅相改可申事

一恩賞者其忠何可行事

一敵方得通(任)之作者於有之者何歲過とも尋生し重類可頂切事

右之条之堅可相守者也

大永五年午  
九月

此所礼立上申也

源家正

寄書

三好吉長此由見テ油断シテ長尾侍籠シ口惜也無ニ盡三に責落セト云万騎 (改)

ヲ三手に已付岩谷より富安迄取廻シ付也とも山高シテ谷ふかく道細く鳥かよ (改)

已ぬ難所あるを城ヲ見上テ控けり中にも岩谷口ノ寄手とも何程ノ事ヲ可有トおめ (改)

きさけびテ責登りテリ城ノ兵中迫下り立解立見ノ射手教而人矢さきお揃 (改)

射方りけり寄手ハ三言録りも射ニおれ少ひ多々見得にけり城之兵態トよ (改)

くと引上テ是ハ寄手 (是) にちからおめて敵ハ心勢成り續や券ト下知シテ入 (是)

けり思儘に引寄相圍ノ員ヲ喚立けはハ并置た日大石亭度とつと岩谷シ付也 (是)

⑤



人馬千餘り之ちん之成而死にけり手負ハ教カ知事ニケリケリ 左右之嶺ニ立并  
手たきテ笑けり寄手は討退者トせず大將下知シ此城力責には叶まシ此  
陣ハけやとテ跡おも不見ニテ遊<sup>ニ</sup>けり軍神ノ血祭り去ト勝時ニ度上ケ而城中將<sup>ニ</sup>  
引<sup>ク</sup>ケス

扱也城神將<sup>ニ</sup>入賀ニ被取シ女わん其日之夜ニ此合戦に親を討せ見事ニケリ  
なけきかなしむありさま見るに心も消ぬ如し市瀬中郎左衛門尉息女十太夫  
にありける髪落り四方も見侍ケレを落り見落し

鞍馬多和カケケ秋ケリ心せき我古里<sup>ハ</sup> ね見てもニケリ

崎山鳥羽守此息女おせん<sup>ハ</sup>  
ひき寄て首かき落せ鞍馬多和名わ後此世にありまき此袖

中津川無大快鞍馬息女おきく十五才兄兵助討死トきくてなく<sup>ハ</sup>よこて母此かこ<sup>ハ</sup>  
送ケケリ

さのま見し人も名はけり今日わなし鞍馬多和ころあて此山あす<sup>ハ</sup>  
中津川<sup>河</sup>兵大夫鞍馬<sup>ハ</sup>崎山<sup>驛</sup>飛彈守家正乃姉妹おきよ後と申せケケリ

末ノ尾山上下取出合戦

富安口の寄手とも岩根谷合戦、寄手多勢討建城中録 (三) あり寄手ヲ

あさむく躰見多軍評定 (一) ちかり (二) じり (三) けい (四) 久米河原左衛門申やう左

様に難所ヲかちて軍之實儀計 (一) 戦事ハ不可有續や (二) 事 (三) 崎 (四) 欠 (五) 登

りけり (一) け (二) 若 (三) 侍 (四) 子 (五) 餘 (六) 子 (七) 急 (八) 尾 (九) 子 (一〇) 責 (一一) 登 (一二) 城 (一三) 中 (一四) 少 (一五) 也 (一六) 寸 (一七) 屋 (一八) 有

けり寄手彌勇 (一) 成 (二) 崎 (三) 上 (四) 木 (五) 戸 (六) 口 (七) 追 (八) 詰 (九) 寄 (一〇) 時 (一一) 音 (一二) 上 (一三) 逆 (一四) 木 (一五) に (一六) 取 (一七) 付 (一八) とも (一九) 城 (二〇) 中

更に不驚寄手ハ (一) 面 (二) 立 (三) 并 (四) 只 (五) 引 (六) 破 (七) 壁 (八) 土 (九) 屋 (一〇) 端 (一一) 引 (一二) や (一三) 崩 (一四) 下 (一五) 追 (一六) 寄 (一七) 付 (一八) 有

城中分是ヲ見テ (一) 大 (二) 木 (三) 此 (四) 釣 (五) 繩 (六) 度 (七) 切 (八) 而 (九) 落 (一〇) シ (一一) 矢 (一二) さ (一三) き (一四) 射 (一五) 入 (一六) 射 (一七) こ (一八) り (一九) け (二〇) 押 (二一) 打 (二二) 是

云三百又死 (一) 去 (二) け (三) 此 (四) は (五) あ (六) り (七) 也 (八) 死 (九) に (一〇) 吉 (一一) 川 (一二) 佐 (一三) 太 (一四) 夫 (一五) 中 (一六) 津 (一七) 川 (一八) 兵 (一九) 太 (二〇) 夫 (二一) 其 (二二) 勢 (二三) ハ

三百人 (一) 又 (二) 出 (三) し (四) 爰 (五) せ (六) ん (七) と (八) 言 (九) 戦 (一〇) 防 (一一) け (一二) り (一三) 吉 (一四) 川 (一五) 卷 (一六) 丈 (一七) 五 (一八) 尺 (一九) 鉄 (二〇) 棒 (二一) 何 (二二) た (二三) り (二四) 者 (二五) を (二六) 幸 (二七) と

を (一) け (二) り (三) 也 (四) 吉 (五) 川 (六) 是 (七) 見 (八) て (九) か (一〇) ら (一一) く (一二) 笑 (一三) 也 (一四) 吉 (一五) 川 (一六) 内 (一七) 今 (一八) 榎 (一九) 崎 (二〇) 下 (二一) 何 (二二) 也 (二三) 也

引 (一) に (二) け (三) り (四) 吉 (五) 川 (六) 是 (七) 見 (八) て (九) か (一〇) ら (一一) く (一二) 笑 (一三) 也 (一四) 吉 (一五) 川 (一六) 内 (一七) 今 (一八) 榎 (一九) 崎 (二〇) 下 (二一) 何 (二二) 也 (二三) 也

名 (一) 呼 (二) 又 (三) 噓 (四) 鬼 (五) 此 (六) 有 (七) 不 (八) 知 (九) 也 (一〇) 濡 (一一) 子 (一二) 今 (一三) 粟 (一四) を (一五) け (一六) り (一七) ま (一八) ん (一九) と (二〇) 言 (二一) く (二二) 寄 (二三) 手 (二四) 人 (二五) 也 (二六) 此

遊 (一) さま (二) 見 (三) よ (四) と (五) 言 (六) 笑 (七) け (八) り

吉川佐太夫夜討之事



相原山

初十日二日夜雨風はけ暮ニテ方々此かゝり火も消けしハ吉川申やういさ  
此まきれに夜討之出敵ヲ起ニテ一慰下玉置為太郎芝山七郎楠三郎潮行  
主膳<sup>上</sup> 五人密ニ城<sup>(三)</sup>お出にけり密ニ多相明燈かんやくニ火かけたり夜  
討ニそあ水鉢さしと騒動ニテ<sup>(三)</sup>廻リニ牛お影もかけ出三好五郎等打落  
一其外名字侍拾五人討取<sup>(三)</sup>能知りたり巢原山より心算に引上り此  
所ヲ引尾下名付たり其夜寄子味方打ニテ八拾四人死たりけり

但馬守討死之事

初寄子大勢成ト申とも流石高家公に吾人寄子ノ吾難所ノ城に務りけ  
<sup>(三)</sup>此ハ責あくんテ控けり爰に宮崎上野守かろく順見ニテ丑内<sup>大</sup>平こそ究竟此  
寄口あり下案内者四宮五郎に先陣させ其勢五千計も込入り如案大平通  
<sup>(三)</sup>廣して長尾追大進有今日此城責落さすは三好家の方よく成と進立追立  
責<sup>(三)</sup>入けり此手此大將但馬守家時而馳して予騎候を騎に<sup>(三)</sup>成追敵に長尾  
<sup>(三)</sup>越すと下知ニたま(左承山と三石八郎廣瀬五郎真先<sup>(三)</sup>て戦し候敵々  
所ノ手負彌敵此手にかゝらしと吾人指ち候へて死にけり城中風を吹立大

鼓ヲ打令日ヲ最後ト思ハ切テ走リ加リ走リ加リ返テ大勢ヲ追下レ追落シ  
吾足も不引親被討とも子不物子討せとも親飯り不見シテ死骸ノ上ヲ  
象継テ十月五日己未刻迄七八度防戦ける程之敵も味方も数ヲ盡シ  
討せケル大將但馬頭高才所へ欠上り軍ノ下知たまひ一軍流矢來而内甲に立大勢は  
手ふれもかつを込伏たまふ松沢五郎是ヲ見テ首ヲ取らむト走寄テ起直リ太刀ヲ拔キ  
五郎足跡跡跡テ走らへア、口惜也と云かりん甘香ギヲ最後トシ長尾ノ露下浦た  
まう阿波田次郎是ヲ見テ今若何と可妙ト大音上ケ日比鬼面こか目な鬼

神也りに聞急し阿波田次郎今ヲ最後おれを平并程ヲ能見置末代之物語にせ  
よと呼り多勢中得呂つて入家尺八寸、太刀まつこうに指しかさし切テ廻リ十七  
騎切伏せ太刀打おれて大音おれを討取テハ投取ハかけ十四五人這投有けり  
爰ニ増山次郎川嶋七郎と申大力の勇者左右よりく之付を兩ノ脇に換ひ作り  
行もさびしきに己ら供せよと急いと又一人曰口よりちをさきく死たり其  
時大勢欠寄テ終に首おそ討ルケリ上野守但馬頭北首ヲ取崎山但馬頭ヲ宮  
崎上野守討取シト高間呼ひりケリ吉川佐太夫早虎搦手末尾ノ寄手ヲ扱下



將追前レ大手合戦急成由聞テ大息<sup>(吐)</sup>次而走り來り 何我君討<sup>(討)</sup>せ給ふと  
己上野め繼を天<sup>(か)</sup>ツ欠り行とも退さ一と巻丈五尺ノ鉄棒<sup>(足)</sup>と黒煙立散々に打  
ふせたり 上野下知してあれ<sup>(足)</sup>を逃い此佐太夫成高名ふくくも敵による此陣  
引<sup>(後)</sup>と谷口指テ引<sup>(後)</sup>けり吉川八町内を早キ馬にも追付程ノ者成ければ終<sup>(後)</sup>  
追詰馬<sup>(後)</sup>此跡すを打古へ上野坂甲ノ上押打<sup>(足)</sup>にうちけ<sup>(足)</sup>を首を胸<sup>(足)</sup>を入<sup>(足)</sup>きけり  
但馬頭ノ御首ヲ取上御懷<sup>(足)</sup>上ケテ扱<sup>(足)</sup>之無情申顔<sup>(足)</sup>を世和佐太夫ト被仰ぬ<sup>(足)</sup>りト伏  
こま<sup>(足)</sup>の身ヲもたへ音をおけ<sup>(足)</sup>そ冷居たり かくて<sup>(足)</sup>ハ叶<sup>(足)</sup>日<sup>(足)</sup>ト布首ヲ袖に上ケテ泪

に木城ニ歸りケリ此所ヲ合戦坂ト申成木城成シカハ入道乃市前に参上シテ御首  
ヲ指上ル皆之袖ヲ濡シけり孫<sup>(足)</sup>甲印名但馬頭ノ御首ヲ御覽有扱<sup>(足)</sup>之早くも替<sup>(足)</sup>は  
たま<sup>(足)</sup>う<sup>(足)</sup>顔<sup>(足)</sup>をせや粉川にまします母上御名違<sup>(足)</sup>聞召<sup>(足)</sup>ハ嘘<sup>(足)</sup>をなけりせたま<sup>(足)</sup>う<sup>(足)</sup>  
弓矢取身<sup>(足)</sup>わ立わか<sup>(足)</sup>ル行ヲ限りト兼テ思<sup>(足)</sup>ひ置ぬ<sup>(足)</sup>ルト今更<sup>(足)</sup>己か<sup>(足)</sup>ル可奉<sup>(足)</sup>ト<sup>(足)</sup>思<sup>(足)</sup>  
さ<sup>(足)</sup>り<sup>(足)</sup>シあり 口惜<sup>(足)</sup>れ甚<sup>(足)</sup>中ト<sup>(足)</sup>涕<sup>(足)</sup>泪<sup>(足)</sup>せきあ<sup>(足)</sup>一<sup>(足)</sup>古<sup>(足)</sup>家正<sup>(足)</sup>涕<sup>(足)</sup>泪<sup>(足)</sup>ヲ留<sup>(足)</sup>識<sup>(足)</sup>佐太夫<sup>(足)</sup>ま<sup>(足)</sup>り  
せ<sup>(足)</sup>え<sup>(足)</sup>首<sup>(足)</sup>ヲ敵<sup>(足)</sup>ニ被取<sup>(足)</sup>今更<sup>(足)</sup>見<sup>(足)</sup>る事<sup>(足)</sup>あら<sup>(足)</sup>し<sup>(足)</sup>申<sup>(足)</sup>に死骸<sup>(足)</sup>首<sup>(足)</sup>能<sup>(足)</sup>を可<sup>(足)</sup>納<sup>(足)</sup>也<sup>(足)</sup>并<sup>(足)</sup>死骸<sup>(足)</sup>中<sup>(足)</sup>も  
阿波田<sup>(足)</sup>姫<sup>(足)</sup>事<sup>(足)</sup>母<sup>(足)</sup>にお<sup>(足)</sup>く<sup>(足)</sup>ル<sup>(足)</sup>て子<sup>(足)</sup>も<sup>(足)</sup>な<sup>(足)</sup>く<sup>(足)</sup>殘<sup>(足)</sup>る<sup>(足)</sup>ハ名<sup>(足)</sup>此<sup>(足)</sup>ニ<sup>(足)</sup>討<sup>(足)</sup>成<sup>(足)</sup>不<sup>(足)</sup>便<sup>(足)</sup>者<sup>(足)</sup>乃<sup>(足)</sup>心<sup>(足)</sup>指<sup>(足)</sup>何<sup>(足)</sup>世<sup>(足)</sup>か<sup>(足)</sup>己<sup>(足)</sup>

お吉さんと申す立世たまひけむと本城北谷にふりくを級申けり其外市  
一町北内死骸此所へ納置世納而後おもひく引納り也去り其城ヲ但馬  
模城とも申あり

鳥羽頭討死ノ事

明レ十月六日辰刻儀長七百騎本城表ニ押寄時音方上ケたり城中にも三百計

欠出シ大將崎山鳥羽頭藤堂伊豆守笠松兵部之大夫三千二百計三方が取包而費

戦家正城が御覽ニ而敵多勢成之鳥羽守討死すと宣ハ高橋權平大谷九郎

高家佐右衛門百騎計欠出シ敵ヲ難所懸所ニ追落シ散々射たりけり之は

案内者寄手ハ案内不知懸所難所押落シ追過半被打叶シ名被思けん

西ヲ指引而ゆく阿ま古本討と下知シ而追而行廿敵多知此時鳥羽守

大音上ケきこふ古長何事敵後ヲ見するそりし合テ勝負をせよかやう

に申ハ今日ノ大將崎山鳥羽守敵ニ不足ハあらしうせくと宣ハ儀長も廿

多知之味を駒引りし爰に討死せよと下知しけり此を討せしとく

し合戦所へ三好城が新守ノ勢走来鋒石火煙ヲ出シ而もあらず戦けり

①



鳥羽守敵六騎打取七八騎之手負せふ手負馬を落たす(子)  
在大谷九郎  
切拂鳥羽殿の肩のかげ味方陣に引くし木影におろしまつては其身も  
息が次居たり鳥羽守城の方陣を離れ念佛五六遍唱城ヲ拜りて北山を  
と計り而終事したまひけむ(父)大谷九郎まの肩のかげ城中へ引くす望招兵  
部之太奉太勢中を敵に攻め好む郎将首を取而引く古藤堂甲守も  
敵の中へ欠入而古長将兼たり(義)北平首打落し屏風毛だて落首を打ん  
とせし所に森平八(子)欠合討り同くうとうも古長を中へ取而共あり(義)

く落延たり 猶追かけんと志たまう所一高橋權平跡鐘を合欠(子)来而令  
日拾せたまひて不叶命短大段ノ御大事ヲ御覽せんと被思召さやとか  
けさせ奉許せ共去春も無力泪ををらくとあかー昨日は但馬頭におくれ今  
日の眼前に兄鳥羽殿を討せ物手を入に敵を長を討らぬ事ハ能く  
可矣、冥賀に盡ぬる候ト先か之あて引たまう(子)末代迄も名北高き藤堂  
ノ元祖は君也 高橋權平丁子巴、幡をぬりせ味方、勢ヲ引上ク見れば鏡、  
三七拾人皆うす手少く買ぬハ、あく皆ひをとしに染あり(子)あけに成る引くハ

寸怖かりし戦有り去依以所を陣野原と申す也

鞍馬多和落城ノ事

相も祖為守并之崎山太郎左衛門 崎山 以入道 同左道之太夫 阿波田助五郎  
森源五郎 阿波田助五郎 鹿瀬五郎 芝山七郎 三右八右 向山助八ヲ初トシテ味  
方七右三拾騎 露谷大平 嶺長尾 合戦に討也 本城表ノ合戦之崎山三  
膳 崎山鳥羽守討死 其外度々此戦に五拾騎 三拾騎 宛討死ける能レ續  
今也 是より兵 吾為人ハ過さず 城中もたもちかなくを覺け 是 孫四郎 復

入道ノ御前に参仰けり<sup>(一)</sup> 此城難所ヲ頼計<sup>(二)</sup> 三方ヲ敵に搦られ續に合は

雜兵貳百人ハ過左ハ又待りとも助味方もいま一されを命ヲまつと<sup>(三)</sup> 示

意ヲ達シ弟辨トこり承り得ハ何事<sup>(四)</sup> 計もはひらき有テ重而御幡ヲ揚給ハ三

好<sup>(五)</sup> 討敵たま<sup>(六)</sup> 一草影成兄上も嘆也愧給ふ人し如何被思召ハ裁ト仰け

此左入道若<sup>(七)</sup> 一は道事もあ<sup>(八)</sup> 出洞に暮るま<sup>(九)</sup> 志願能申たり孫四郎我等

も左様<sup>(一〇)</sup> に思ひ一嘆とも老又の我命惜<sup>(一一)</sup> 之何れせん又ハおこと堪心底も愧

敷<sup>(一二)</sup> 此城ヲ枕トシテ討死と思定<sup>(一三)</sup> 之頃とハ一門皆之討死せし時山ノ孫子此



所<sup>(一)</sup>を絶也事<sup>(二)</sup>ころ終<sup>(三)</sup>ハ城<sup>(四)</sup>出<sup>(五)</sup>御<sup>(六)</sup>き<sup>(七)</sup>馬<sup>(八)</sup>とも<sup>(九)</sup>遁<sup>(一〇)</sup>放<sup>(一一)</sup>  
也敵<sup>(一二)</sup>風<sup>(一三)</sup>上<sup>(一四)</sup>ヨリ<sup>(一五)</sup>焼<sup>(一六)</sup>討<sup>(一七)</sup>に<sup>(一八)</sup>出<sup>(一九)</sup>か<sup>(二〇)</sup>ま<sup>(二一)</sup>る<sup>(二二)</sup>殺<sup>(二三)</sup>打<sup>(二四)</sup>に<sup>(二五)</sup>事<sup>(二六)</sup>も<sup>(二七)</sup>有<sup>(二八)</sup>そ<sup>(二九)</sup>下<sup>(三〇)</sup>知<sup>(三一)</sup>し<sup>(三二)</sup>給<sup>(三三)</sup>侍<sup>(三四)</sup>を<sup>(三五)</sup>皆<sup>(三六)</sup>  
人<sup>(三七)</sup>質<sup>(三八)</sup>に<sup>(三九)</sup>取<sup>(四〇)</sup>置<sup>(四一)</sup>し<sup>(四二)</sup>女<sup>(四三)</sup>ら<sup>(四四)</sup>ん<sup>(四五)</sup>魚<sup>(四六)</sup>お<sup>(四七)</sup>も<sup>(四八)</sup>ひ<sup>(四九)</sup>く<sup>(五〇)</sup>心<sup>(五一)</sup>に<sup>(五二)</sup>落<sup>(五三)</sup>し<sup>(五四)</sup>け<sup>(五五)</sup>り<sup>(五六)</sup>哀<sup>(五七)</sup>と<sup>(五八)</sup>い<sup>(五九)</sup>む<sup>(六〇)</sup>か<sup>(六一)</sup>こ<sup>(六二)</sup>そ<sup>(六三)</sup>あ<sup>(六四)</sup>き<sup>(六五)</sup>  
孫<sup>(六六)</sup>甲<sup>(六七)</sup>郎<sup>(六八)</sup>被<sup>(六九)</sup>仰<sup>(七〇)</sup>し<sup>(七一)</sup>此<sup>(七二)</sup>山<sup>(七三)</sup>城<sup>(七四)</sup>に<sup>(七五)</sup>名<sup>(七六)</sup>残<sup>(七七)</sup>も<sup>(七八)</sup>今<sup>(七九)</sup>日<sup>(八〇)</sup>ヲ<sup>(八一)</sup>限<sup>(八二)</sup>り<sup>(八三)</sup>を<sup>(八四)</sup>や<sup>(八五)</sup>い<sup>(八六)</sup>さ<sup>(八七)</sup>也<sup>(八八)</sup>名<sup>(八九)</sup>残<sup>(九〇)</sup>お<sup>(九一)</sup>を<sup>(九二)</sup>し<sup>(九三)</sup>あ<sup>(九四)</sup>ん<sup>(九五)</sup>誠<sup>(九六)</sup>  
に<sup>(九七)</sup>一<sup>(九八)</sup>時<sup>(九九)</sup>之<sup>(一〇〇)</sup>禁<sup>(一〇一)</sup>花<sup>(一〇二)</sup>ハ<sup>(一〇三)</sup>千<sup>(一〇四)</sup>歳<sup>(一〇五)</sup>延<sup>(一〇六)</sup>ル<sup>(一〇七)</sup>各<sup>(一〇八)</sup>心<sup>(一〇九)</sup>静<sup>(一一〇)</sup>成<sup>(一一一)</sup>内<sup>(一一二)</sup>い<sup>(一一三)</sup>さ<sup>(一一四)</sup>也<sup>(一一五)</sup>名<sup>(一一六)</sup>残<sup>(一一七)</sup>惜<sup>(一一八)</sup>ま<sup>(一一九)</sup>又<sup>(一二〇)</sup>之<sup>(一二一)</sup>下<sup>(一二二)</sup>御<sup>(一二三)</sup>侍<sup>(一二四)</sup>  
と<sup>(一二五)</sup>高<sup>(一二六)</sup>端<sup>(一二七)</sup>權<sup>(一二八)</sup>平<sup>(一二九)</sup>御<sup>(一三〇)</sup>益<sup>(一三一)</sup>ヲ<sup>(一三二)</sup>持<sup>(一三三)</sup>出<sup>(一三四)</sup>テ<sup>(一三五)</sup>乃<sup>(一三六)</sup>通<sup>(一三七)</sup>ノ<sup>(一三八)</sup>前<sup>(一三九)</sup>に<sup>(一四〇)</sup>置<sup>(一四一)</sup>末<sup>(一四二)</sup>と<sup>(一四三)</sup>下<sup>(一四四)</sup>と<sup>(一四五)</sup>至<sup>(一四六)</sup>迄<sup>(一四七)</sup>今<sup>(一四八)</sup>お<sup>(一四九)</sup>何<sup>(一五〇)</sup>お<sup>(一五一)</sup>か<sup>(一五二)</sup>  
惜<sup>(一五三)</sup>む<sup>(一五四)</sup>ま<sup>(一五五)</sup>き<sup>(一五六)</sup>各<sup>(一五七)</sup>を<sup>(一五八)</sup>舞<sup>(一五九)</sup>う<sup>(一六〇)</sup>た<sup>(一六一)</sup>へ<sup>(一六二)</sup>也<sup>(一六三)</sup>思<sup>(一六四)</sup>ひ<sup>(一六五)</sup>指<sup>(一六六)</sup>を<sup>(一六七)</sup>と<sup>(一六八)</sup>ま<sup>(一六九)</sup>む<sup>(一七〇)</sup>れ<sup>(一七一)</sup>て<sup>(一七二)</sup>其<sup>(一七三)</sup>日<sup>(一七四)</sup>も<sup>(一七五)</sup>既<sup>(一七六)</sup>に<sup>(一七七)</sup>暮<sup>(一七八)</sup>に<sup>(一七九)</sup>け<sup>(一八〇)</sup>り<sup>(一八一)</sup>

月<sup>(一)</sup>山<sup>(二)</sup>北<sup>(三)</sup>を<sup>(四)</sup>に<sup>(五)</sup>入<sup>(六)</sup>給<sup>(七)</sup>へ<sup>(八)</sup>也<sup>(九)</sup>時<sup>(一〇)</sup>分<sup>(一一)</sup>能<sup>(一二)</sup>る<sup>(一三)</sup>事<sup>(一四)</sup>ト<sup>(一五)</sup>大<sup>(一六)</sup>將<sup>(一七)</sup>の<sup>(一八)</sup>聲<sup>(一九)</sup>ヲ<sup>(二〇)</sup>立<sup>(二一)</sup>多<sup>(二二)</sup>人<sup>(二三)</sup>を<sup>(二四)</sup>一<sup>(二五)</sup>門<sup>(二六)</sup>松<sup>(二七)</sup>六<sup>(二八)</sup>人<sup>(二九)</sup>の<sup>(三〇)</sup>由<sup>(三一)</sup>  
供<sup>(三二)</sup>申<sup>(三三)</sup>出<sup>(三四)</sup>に<sup>(三五)</sup>け<sup>(三六)</sup>り<sup>(三七)</sup>孫<sup>(三八)</sup>甲<sup>(三九)</sup>郎<sup>(四〇)</sup>名<sup>(四一)</sup>鐘<sup>(四二)</sup>の<sup>(四三)</sup>上<sup>(四四)</sup>に<sup>(四五)</sup>淺<sup>(四六)</sup>黄<sup>(四七)</sup>いと<sup>(四八)</sup>全<sup>(四九)</sup>爾<sup>(五〇)</sup>之<sup>(五一)</sup>萬<sup>(五二)</sup>葉<sup>(五三)</sup>お<sup>(五四)</sup>絶<sup>(五五)</sup>せ<sup>(五六)</sup>ら<sup>(五七)</sup>る<sup>(五八)</sup>里<sup>(五九)</sup>き<sup>(六〇)</sup>小<sup>(六一)</sup>  
袖<sup>(六二)</sup>ヲ<sup>(六三)</sup>被<sup>(六四)</sup>置<sup>(六五)</sup>衣<sup>(六六)</sup>三<sup>(六七)</sup>寸<sup>(六八)</sup>を<sup>(六九)</sup>う<sup>(七〇)</sup>ら<sup>(七一)</sup>い<sup>(七二)</sup>し<sup>(七三)</sup>鹿<sup>(七四)</sup>瀬<sup>(七五)</sup>丸<sup>(七六)</sup>と<sup>(七七)</sup>申<sup>(七八)</sup>重<sup>(七九)</sup>代<sup>(八〇)</sup>ノ<sup>(八一)</sup>太<sup>(八二)</sup>刀<sup>(八三)</sup>ヲ<sup>(八四)</sup>左<sup>(八五)</sup>き<sup>(八六)</sup>高<sup>(八七)</sup>端<sup>(八八)</sup>權<sup>(八九)</sup>平<sup>(九〇)</sup>大<sup>(九一)</sup>  
谷<sup>(九二)</sup>九<sup>(九三)</sup>郎<sup>(九四)</sup>沖<sup>(九五)</sup>三<sup>(九六)</sup>郎<sup>(九七)</sup>右<sup>(九八)</sup>史<sup>(九九)</sup>吉<sup>(一〇〇)</sup>川<sup>(一〇一)</sup>佐<sup>(一〇二)</sup>右<sup>(一〇三)</sup>史<sup>(一〇四)</sup>早<sup>(一〇五)</sup>虎<sup>(一〇六)</sup>幼<sup>(一〇七)</sup>供<sup>(一〇八)</sup>申<sup>(一〇九)</sup>出<sup>(一一〇)</sup>に<sup>(一一一)</sup>け<sup>(一一二)</sup>り<sup>(一一三)</sup>太<sup>(一一四)</sup>永<sup>(一一五)</sup>永<sup>(一一六)</sup>年<sup>(一一七)</sup>十<sup>(一一八)</sup>月<sup>(一一九)</sup>七<sup>(一二〇)</sup>日<sup>(一二一)</sup>此<sup>(一二二)</sup>  
夜<sup>(一二三)</sup>長<sup>(一二四)</sup>尾<sup>(一二五)</sup>ノ<sup>(一二六)</sup>城<sup>(一二七)</sup>出<sup>(一二八)</sup>被<sup>(一二九)</sup>地<sup>(一三〇)</sup>地<sup>(一三一)</sup>へ<sup>(一三二)</sup>落<sup>(一三三)</sup>ま<sup>(一三四)</sup>ま<sup>(一三五)</sup>う<sup>(一三六)</sup>松<sup>(一三七)</sup>瀬<sup>(一三八)</sup>川<sup>(一三九)</sup>ノ<sup>(一四〇)</sup>水<sup>(一四一)</sup>増<sup>(一四二)</sup>ニ<sup>(一四三)</sup>雨<sup>(一四四)</sup>降<sup>(一四五)</sup>リ<sup>(一四六)</sup>前<sup>(一四七)</sup>後<sup>(一四八)</sup>暗<sup>(一四九)</sup>シ<sup>(一五〇)</sup>テ<sup>(一五一)</sup>行<sup>(一五二)</sup>  
先<sup>(一五三)</sup>更<sup>(一五四)</sup>見<sup>(一五五)</sup>得<sup>(一五六)</sup>々<sup>(一五七)</sup>目<sup>(一五八)</sup>を<sup>(一五九)</sup>如<sup>(一六〇)</sup>何<sup>(一六一)</sup>せん<sup>(一六二)</sup>ト<sup>(一六三)</sup>お<sup>(一六四)</sup>も<sup>(一六五)</sup>お<sup>(一六六)</sup>所<sup>(一六七)</sup>へ<sup>(一六八)</sup>老<sup>(一六九)</sup>人<sup>(一七〇)</sup>吾<sup>(一七一)</sup>人<sup>(一七二)</sup>童<sup>(一七三)</sup>子<sup>(一七四)</sup>吾<sup>(一七五)</sup>人<sup>(一七六)</sup>招<sup>(一七七)</sup>明<sup>(一七八)</sup>燈<sup>(一七九)</sup>我<sup>(一八〇)</sup>々<sup>(一八一)</sup>  
道<sup>(一八二)</sup>ヲ<sup>(一八三)</sup>頼<sup>(一八四)</sup>申<sup>(一八五)</sup>せん<sup>(一八六)</sup>ト<sup>(一八七)</sup>吾<sup>(一八八)</sup>人<sup>(一八九)</sup>跡<sup>(一九〇)</sup>先<sup>(一九一)</sup>に<sup>(一九二)</sup>立<sup>(一九三)</sup>け<sup>(一九四)</sup>れ<sup>(一九五)</sup>を<sup>(一九六)</sup>白<sup>(一九七)</sup>晝<sup>(一九八)</sup>の<sup>(一九九)</sup>そ<sup>(二〇〇)</sup>く<sup>(二〇一)</sup>あ<sup>(二〇二)</sup>り<sup>(二〇三)</sup>之<sup>(二〇四)</sup>々<sup>(二〇五)</sup>悦<sup>(二〇六)</sup>川<sup>(二〇七)</sup>瀬<sup>(二〇八)</sup>ヲ<sup>(二〇九)</sup>安<sup>(二一〇)</sup>渡<sup>(二一一)</sup>

り行能に夜もほのくせ明方に印南浦に出にけり其時云々音りあり  
我ヲ誰と思らん老人ハ汝(うが)良坂氏神ハ幡堂ノ神使也又童子ハ汝(うが)良坂  
頼ヲ掛(ま)山ノ主猶行末可守トのたまう内音諸とも西ノ空に飛たまう  
不思議ト言もあまりあり又之難有(ま)ト山路お拜し心中ノ頼發難所越  
ヲ越野成河内村監野里勝山ノ城に入たまう  
叔(義)三好長長大勝討せケルとも但馬守ヲ討取喜悅限ハありけり  
急(義)に城ヲ責落せト案内野田太郎に尋テ水越ト申所お通り鹿瀬

時ヲ嶺通り鞍坂系和木城迄責入陣屋ノ火掛時(関)音ヲ上ケにけり  
此ハ十月九日卯ノ刻計に西風稠敷吹け進ハ片時之間に焼拂然とも三日  
前に落行進人もあかりけり扱ハ何國ハか落ぬらむまの自出ニ珍重と別  
廣在中ニ代官ヲ置テ小坊師坊城に種杉殿ヲ殘ニ置阿波に攻陣有  
いよく鬼節責取らむと軍ノ用意ト聞(ま)けり種杉殿成人ノ後三好義(継)満  
ト申也去仍城ヲ種坂城ト申也  
崎山飛(驛)彈頭入通西室院同孫守郎去國勝山ノ城ニ入たま(ま)左右馬太史憶事ハ



限一其外安宅小山松原何也好身(証)ふかれ能(保)之いたり奉り其比副  
將軍宮内少輔政春公能野湯川之病氣改外成之かを色之病瘵治被成少之  
病快氣成け能ハ何也安堵ノ思ハ之奉りにけり能共小松原龜山城道光公  
持堅固所居由日之往還仕由能に能彈頭方より高牆權平使者と鞍  
坂多知長尾ノ合戦但馬守討死ノ次第ヲ具ニ申上たまは神妙之病働可  
申也之無之ハ我等病氣結ゆ(左)能之打立可申名由邊事有由暇ヲ被  
下權平塩師へ攻りけり又富山宮原ノ城ヲ責被破保田貴志下等所之成而

合戦之由告來こかは河内へも病氣師被遣 太永二年十月廿六日之湯川ヲ以  
正有其勢八百五十騎(百)同廿八日午刻小松原ノ城ヲ入給は上下悦其  
風情浦嶋太郎(左)歿七世孫之逢けるも是には過一と見(左)ハにけり 河内國  
富山高國ノ病勢湯漢之付下開しかを能代ノ軍勢之集り其勢五千  
下開得けり(左) 霜月十日小坊師病歿ヲ取廻し政春高國兩大將(左)之教度戰  
之り事おめらし小坊師病歿ヲ兼取三好ヲ西海之追拂其後三好ト度之  
合戦有 直光河内國若江郡之三好義速ト戦討死有之也(証) 龜彈(証)

入道家正其時分一家湯川ノ麓<sup>下</sup>一門三十四人本領廣在江歸り云  
拾日村納<sup>(注)</sup>也又日高郎原村萩原高家富安半分蛇尾中津川 小池村  
納<sup>(注)</sup>而萩原東光寺に屋形ヲ建<sup>(運)</sup>又東ノ嶺上遠見番所<sup>(運)</sup>建<sup>(運)</sup>而番人晝夜  
被置<sup>(注)</sup>也此所ヲ城垣嶺ト申<sup>(成)</sup> 大永三歳ニ建天文、比迄東光寺ノ町  
千軒餘<sup>(注)</sup>此所也阿波田次郎死心吳長尾ノ光物ト成而飛來リ諸人ニ  
<sup>(注)</sup>ヲ之<sup>(注)</sup>オテ<sup>(注)</sup>諸人多ク煩事有而阿波田大明神ト<sup>(注)</sup>己<sup>(注)</sup>ノ霜月廿三日祭祀  
有<sup>(注)</sup>

<sup>(注)</sup>一油良夜奈塚寺山田ニ長尾ノ城ト申所有之此所ヲ長尾越ト<sup>(注)</sup>讀<sup>(注)</sup>有<sup>(注)</sup>  
是ハ文明ノ比崎山越前守富山合戦有<sup>(注)</sup>之<sup>(注)</sup>有<sup>(注)</sup>之<sup>(注)</sup>長尾記ニ<sup>(注)</sup>種<sup>(注)</sup>可有<sup>(注)</sup>  
<sup>(注)</sup>之<sup>(注)</sup>論<sup>(注)</sup>何<sup>(注)</sup>也<sup>(注)</sup>日高郎ノ内也然<sup>(注)</sup>も油良長尾<sup>(注)</sup>鞆<sup>(注)</sup>原<sup>(注)</sup>多<sup>(注)</sup>知<sup>(注)</sup>者<sup>(注)</sup>尾ト申別也  
若<sup>(注)</sup>古<sup>(注)</sup>海<sup>(注)</sup>士<sup>(注)</sup>即<sup>(注)</sup>水<sup>(注)</sup>本<sup>(注)</sup>にも長尾城ト申所有之 池田山十坊師坊城合戦ノ<sup>(注)</sup>由<sup>(注)</sup>也  
泉<sup>(注)</sup>而<sup>(注)</sup>河<sup>(注)</sup>内<sup>(注)</sup>紀<sup>(注)</sup>嘉<sup>(注)</sup>三<sup>(注)</sup>國<sup>(注)</sup>ノ<sup>(注)</sup>武<sup>(注)</sup>士<sup>(注)</sup>討<sup>(注)</sup>死<sup>(注)</sup>鳥<sup>(注)</sup>名<sup>(注)</sup>生<sup>(注)</sup>捕<sup>(注)</sup>殺<sup>(注)</sup>多<sup>(注)</sup>別<sup>(注)</sup>城<sup>(注)</sup>有<sup>(注)</sup>之<sup>(注)</sup>三<sup>(注)</sup>好<sup>(注)</sup>義<sup>(注)</sup>長<sup>(注)</sup>義<sup>(注)</sup>速<sup>(注)</sup>  
十坊師坊ヲ退出花々合戦ニテ去長大引ナリ 船々退 若<sup>(注)</sup>古<sup>(注)</sup>去<sup>(注)</sup>速<sup>(注)</sup>ハ引  
引退<sup>(注)</sup>者<sup>(注)</sup>何<sup>(注)</sup>大<sup>(注)</sup>引<sup>(注)</sup>ト申也 其<sup>(注)</sup>比<sup>(注)</sup>ハ親<sup>(注)</sup>引<sup>(注)</sup>子<sup>(注)</sup>引<sup>(注)</sup>ト申也<sup>(注)</sup>城



右、崎山翁五郎子孫所傳之在、仁書之記者也

折、崎山、家卜申八仁王(皇)五格六代清和天皇、御流八幡太郎儀家、舍弟如茂

次郎儀綱、息吉明長子秋山次郎吉宗、弓拾七代崎山造酒五丞吉時、八代崎

山越前守、長子飛騨守家正、碓有田郡廣在、拾四村日高郡原谷、萩原高

家富安、半分三所蛇尾中津河小池村之領主、有田中野村二居住也、家正七

拾五才(仁)三好儀長儀(義)迷下戰、太永元年、高家在鞍原多知城、新合戰

納而後、太永三歲、分東光寺、之屋形、(建)而居住也、廣崎山、元祖也

西院院源譽居士、俗名崎山飛騨守家正、男子五人、但馬守家時、孫田即吉國、女子五人

太永六年、戊子月十日、全

家正第五人

何子致萬葉

崎山 鳥羽守 家利  
崎山 主膳 左太史 左清?  
崎山 主水 五助 左忠  
笠松 兵部 左太史 儀勝  
藤堂 伊豆守 儀春

五代崎山孫甲即吉如

女子一人 男子四人 内一人原谷村之位す

但拾日戈左 鞠壇多和 城之勢 櫛手末尾 大将也

三代崎山孫五郎

男子一人 孫左衛門 女子三人

但拾六才左 直亮公伊能申 河内合戦 天正十三歳迄拾多戰場 出 高名有

四代崎山孫左衛門

男子三人 女子一人 内一人狐撃剛に死成十一才也

但十八才左 名嶋公我 高名有 天正四年 浪人ニテ皆百姓ニ成也

五代崎山孫左衛門

男子九人

以振有身 東亮才不 和山能登丁 引紙住居致少知 孫次合和 成人之時 萩原 巢原 引紙家ヲ建ル

六代崎山孫次郎

子無し 畑中孫次合和 三男ヲ養子ニ致

以孫次合和 浦口 前役所 相勤

七代崎山孫左衛門

男子一人

惣領六才ニテ死

以孫左衛門 八笠 孫次合和 三男

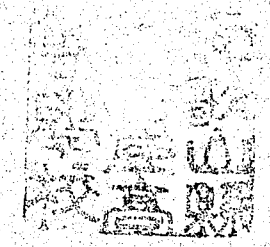
女子一人 右衛門ニテ死

養子ニ来リ 久保 一家ヲ引立ル

八代崎山次郎

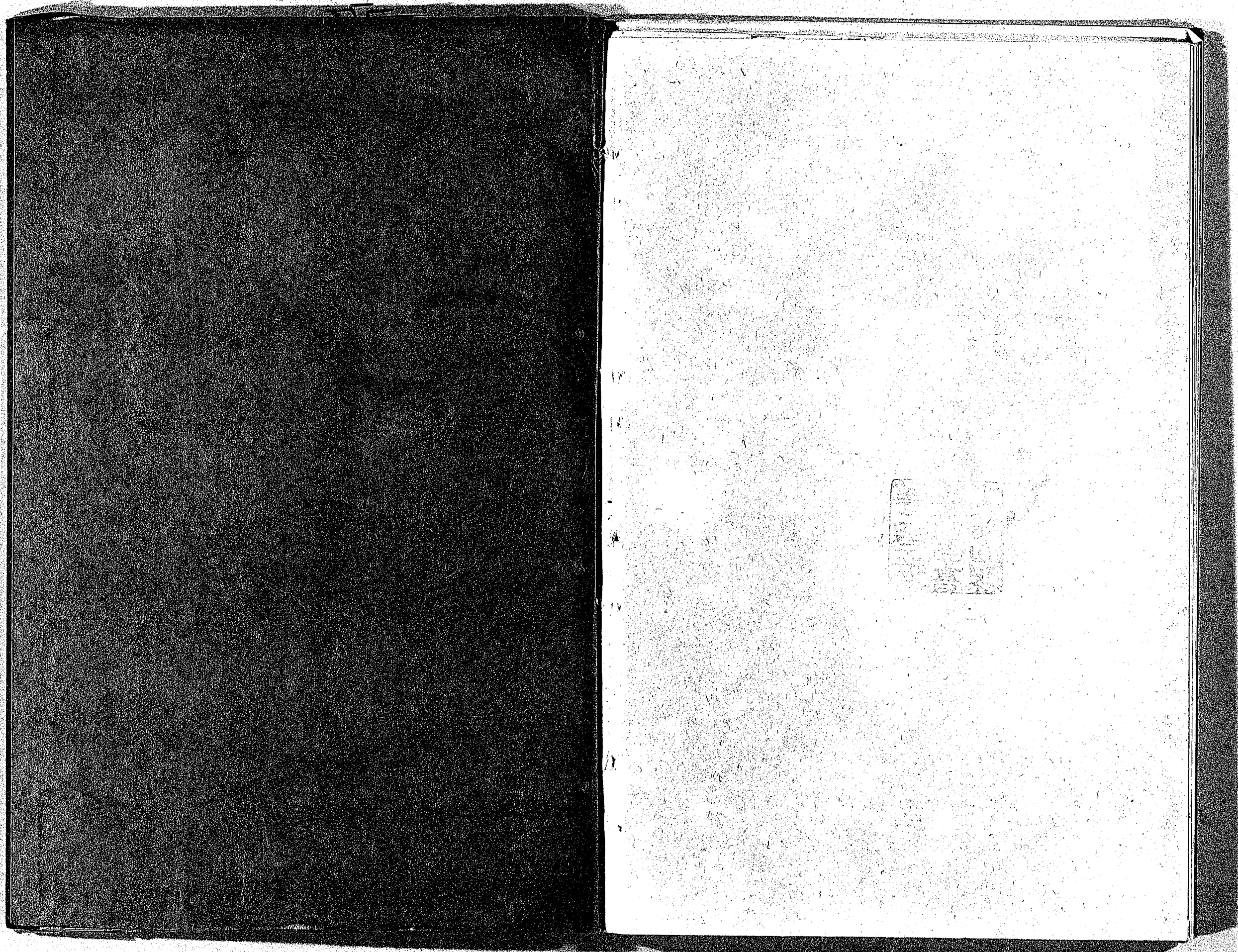
文化五年 九月 十才 病死 生年 七十二才 但子有





九代崎山孫左衛門  
以給左衛門  
一為男之也

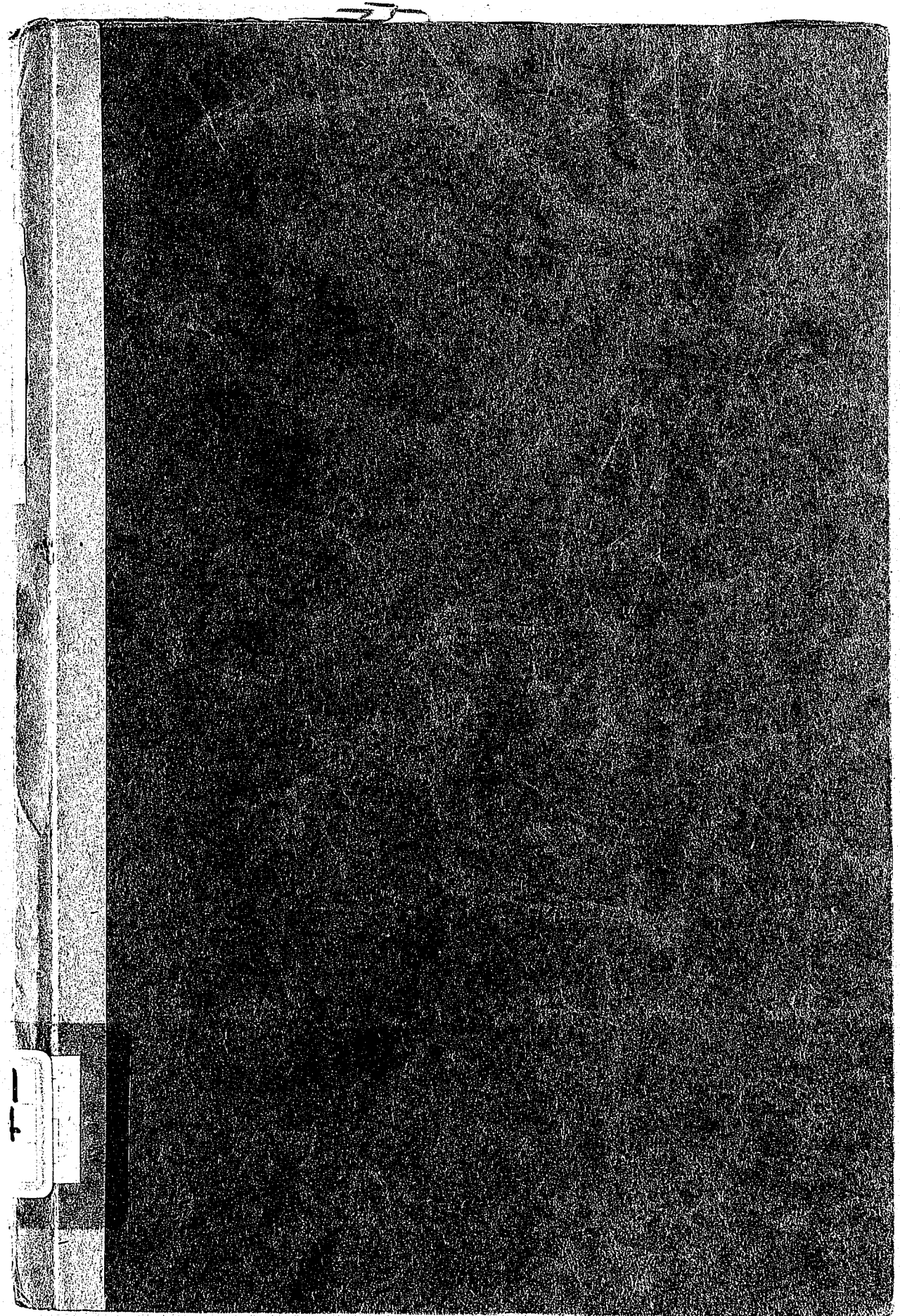




8 9 県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 04000

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9





8 9 県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 04000 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9